

令和2年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	4	おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）		
指定管理者	名称	(社福)岡谷市社会福祉協議会		指定期間	H28.4.1~R3.3.31
料金形態	形態	指定管理料(精算制)		指定管理料	105,207,172 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収				
施設担当課	社会福祉課				

1 施設担当課によるモニタリングの実績

○施設訪問

・施設訪問の頻度 ▼より選択

月に数回

・施設訪問の際に行った内容 ▼より選択

情報交換、意見交換	○
施設管理状況の確認	○
施設の安全点検(危険箇所の把握等)	○
業務指導、改善要求	○

○事業報告書

・報告書の提出を求めている頻度 ▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報(事業報告書)
×	○	×	○

●モニタリングの結果

・モニタリングで把握した課題

<ul style="list-style-type: none"> ・温泉施設、研修施設とも利用者数は前年度より減少が続いている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限や、高齢者クラブの利用がないことが減少に影響している主な要因と推察される。大浴場は65歳以上と無料の障がい者は一定の利用があるが、一般、小学生以下の利用が少ない。長野県子どもパスポートの導入、学生への学習スペース開放など検討が必要と考えられる。 ・防災盤・電話盤が古く心配である。また電気機器の老朽化により効率が悪いと思われる。 ・親水池のすのこ老朽化により、モルタル・人工芝などリニューアルが必要。
--

・指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サーモグラフィーでの検温、消毒等を利用者への呼びかけの徹底を依頼した。 ・無線LAN(Wi-Fi)利用にあたり、パスワードが必要となるため、周知について依頼した。 ・湖周のサイクリングロード完成に向け(令和5年度予定)、売店の品揃え、更衣室の設置、トイレ利用者増への対応、サイクリングロード利用者へのアプローチ(温泉利用)等検討依頼をした。
--

・業務指導、改善要求への対応状況 ▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導・監督に従い、速やかに指摘事項を是正・改善した。	○

2 施設担当課としての評価

○ 実績評価

・ 事業報告書各項目の採点 (70点)

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	4	4	重点施策に着実に取り組み、課題に対する方針を定め、運営を行っている。
経費縮減	3	3	LED化に変更し節減に努めた。
職員の配置	4	4	管理運営に適正な人数を配置している。
有資格者等の配置	3	3	有資格者の適切な配置を行った。
職員研修の実施	3	4	OJT研修により職員の育成を行った。
施設の維持管理	4	4	施設の老朽化から、修繕箇所が多数あるが安全に配慮して管理している。
住民の平等利用の確保対策	4	4	施設の予約方法が利用者に浸透し、公平な利用が確保されている。
サービス向上対策	3	3	イベント情報を新聞社へ依頼し、記事掲載によりPR、イメージアップを図った。
利用者の要望の把握及びその実現対策	4	4	利用者からの要望に迅速に対応し、利便性を高めている。
自主事業の実施	3	3	イベントのポスター掲示や、地域の要望に応え、利用者増加につなげている。
地域、他施設との連携	3	3	カルチャーセンターの減免団体の相互乗り入れを行い連携を図っている。
施設の運営	4	3	誰もが活用できる施設を目指して施設の運営に取り組んでいる。
個人情報保護に向けた取り組み	3	3	予約情報等の管理を適切に行っている。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	4	4	定期的に防災訓練・点検を行っている。警察者に依頼し昼夜のパトロールや警備会社による深夜の巡回実施。
合計	49	49	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとりの管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・ 出納状況 (4点)

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算・決算が示された。	1	
合計点	4	

・ 事務事業評価 (10点)

↑ 増、↓ 減、→ 現状維持

▼ より選択

施設の利用状況	チェック	採点
施設稼働率	↓	0
年間利用者数、件数	↓	0
1日あたり利用者数、件数	↓	0
施設使用料年間収入額	↓	0
活動一単位あたりコスト	該当なし	
合計点	0	

有効性評価	標準
-------	----

増	: 2点
維持	: 1点
減	: 0点

・ 評価する事項

<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染対策として館内における注意喚起をはじめ、サーモグラフィーや空間除菌装置の設置、プレイルームの改修、水道蛇口の自動化等、安心して施設を利用していただけるよう迅速な環境整備に努めた。 ・ 清潔な施設管理に努めている。 ・ 研修施設として、多種多様な団体に活用されており、地域の活性化に貢献している。
--

・ 改善が必要だと考える事項

<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な利用者の確保とともに新規利用者増に向けた取り組みが必要。 ・ 令和3年度より新たに5年間の指定管理者による施設の管理運営と公金収入事務の委託が開始する。引き続き利用者へのサービス向上と適切な公金収入事務への取組みが必要。

・ 事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	・ 老朽化した建物及び付帯設備は優先順位をつけ計画的に改修が必要。
未実施の理由	・ 施設や付帯設備は長寿命化を図るため、予算編成に合わせて順次改修予定である。

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	高い	2
	平等利用の確保対策の充実度	普通	1
2 施設の有効利用及び経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	普通	1
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	普通	1
	経営ノウハウの活用度	高い	2
	管理・運営コストの抑制度	高い	2
3 管理の安定性	管理・運営体制の安定度	高い	2
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	高い	2
		合計点	13

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理・運営方法の改善が必要である	管理・運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上	89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D
		○		

令和2年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	4	おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）		
指定管理者	名称	(社福)岡谷市社会福祉協議会		指定期間	H28.4.1~R3.3.31
料金形態	形態	指定管理料(精算制)		指定管理料	105,207,172 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収				
施設担当課	社会福祉課				

1 施設の利用状況

*①は貸館施設のみ対象 *②・③はどちらかの欄に記入 *

区分	30年度	元年度	2年度	3年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数(日)	344	348	316	347
1日の開設時間(時間)	13	13	13	13
年間利用可能時間(時間)	4,472	4,524	4,108	4,511
年間利用実績(時間)	4,472	4,524	4,108	
② 年間利用者数(人)	120,276	118,735	89,717	125,000
有料利用者数	102,566	99,899	75,440	105,000
無料利用者数	17,710	18,836	14,277	20,000
減免措置者数	0	0	0	0
③ 年間利用件数(件)	106,146	95,468	43,588	95,000
有料利用件数	59,362	54,574	26,767	54,000
無料利用件数				
減免措置件数	46,784	40,894	16,821	41,000
④ 1日あたり利用者数、件数	658.2	615.5	421.9	634.0
⑤ 施設利用状況の説明				

2 コストの推移

*この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位:円]

区分	30年度	元年度	2年度	3年度(予算)
① 直接事業費	124,763,301	134,146,499	105,278,790	125,898,000
経常経費	103,607,571	114,694,379	105,278,790	121,998,000
臨時的経費	21,155,730	19,452,120	0	3,900,000
* 臨時的経費の説明	工事請負費等			

区分	30年度	元年度	2年度	3年度(予算)
② 人件費	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
正規職員の人数(人)	0.35	0.35	0.35	0.35
③ 合計コスト(①+②)	127,563,301	136,946,499	108,078,790	128,698,000
前年度比		107.4%	78.9%	119.1%
財源内訳				
一般財源	77,811,125	90,771,456	85,901,735	90,776,000
特定財源	49,752,176	46,175,043	22,177,055	37,922,000
* 特定財源の説明	総合福祉センター使用料等			
④ 施設使用料年間収入額	27,229,820	26,996,735	19,277,015	31,542,000
⑤ 年間減免措置額	1,760,140	1,654,675	905,275	1,704,000
⑥ 受益者負担割合	23.2%	21.4%	19.2%	26.4%
⑦ 活動一単位あたりコスト	470	549	811	
前年度比		116.7%	147.8%	
⑧ コストに関する補足説明				

3 大規模修繕の予定

予定事業費	5,700,000 円	予定時期	R4
内容	火災報知設備更新工事・昇降機改修工事		

4 施設の維持管理コスト

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
保険料	38,618		38,618	建物火災保険料
管理業務委託料	105,207,172		105,207,172	指定管理料
電算委託料	33,000		33,000	大浴場使用者証作成委託
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	105,278,790	0	105,278,790	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.35		0.35	人
合計	2,800,000	0	2,800,000	円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
総合福祉センター使用料	19,277,015		19,277,015	温泉入浴施設、障害学習施設
行政財産使用料	2,900,040		2,900,040	社協事務室ほか
			0	
			0	
			0	
合計	22,177,055	0	22,177,055	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	85,901,735	0	85,901,735